

在宅看護方法 I 1 単位 (30 時間)

科目目的： 1. 在宅看護の対象の抱える問題を解決するための方法を理解する。
2. ケアマネジメントについて理解する。

講 師：介護支援専門員

評価方法：筆記試験により評価する

テキスト：系統看護学講座 統合分野 在宅看護論，医学書院
公衆衛生がみえる 第2版 メディックメディア

単 元	教 育 内 容	時間	授業 形態	備 考
在宅看護の 対象の抱える 問題を解決さ せるための 方法	1. 在宅看護を取り巻く社会背景 1) 在宅における家族のとらえ方 (1) 家族の機能とその変化 (2) 家族アセスメント (3) 在宅療養への意思決定への支援 2) 退院を可能にする制度・社会資源 (1) 退院支援と退院調整 ・地域連携クリニカルパス ・看看連携 (2) 社会保障制度の活用 ・介護保険制度 ・医療保険制度 ・障害者総合支援法 (3) 地域連携に関連する職種とその役割 ・医療 ・保健 ・福祉	6	講義	
	2. 在宅医療の連携 1) 在宅医療のしくみ ・病病連携 ・病診連携 ・在宅療養支援診療所 ・介護保険施設等 ・サービス付高齢者向け住宅等の民間施設 2) 訪問看護とかかりつけ医師の連携 3) 訪問看護と在宅ケアチームの連携	1 2		

<p>ケアマネジ メント</p>	<p>3. 在宅看護における看護職の役割</p> <p>1) 在宅看護の視点</p> <p>(1) 医療従事者と対象者との位置関係</p> <p>(2) 看護師の責任性</p> <p>(3) 対象者を支える在宅チームの連携</p> <p>(4) 在宅看護における倫理的課題</p> <p>2) 在宅チームの連携の実際</p> <p>(1) 在宅における自立支援</p> <p>(2) 独居の在宅療養者への支援</p> <p>(3) 虐待への対応</p> <p>(4) 医療行為が必要とする療養者と家族への支援とシステム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅酸素療法 (HOT) ・在宅人工呼吸器療法 (HMV) ・胃瘻 (PEG) ・在宅中心静脈栄養法 (HPN) ・膀胱留置カテーテル ・褥瘡管理 ・疼痛緩和 <p>3) 災害時における在宅療養者と家族への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅療養者と家族への防災対策 ・医療機関との連携 ・福祉機関との連携 ・行政 (市町村・消防署・警察等) との連携 <p>4. ケアマネジメント</p> <p>1) ケアマネジメントの概念と機能</p> <p>(1) ケアマネジメントの流れ</p> <p>(2) ケアマネジメントの実施機関と役割</p> <p>2) 介護保険制度</p> <p>(1) 介護保険制度のしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護サービスの種類 <p>※福祉用具貸与、住宅改修、特定福祉用具販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保険給付の内容 ・申請から給付までの介護サービス利用の手続き ・特定疾病とサービスの利用 	<p>8</p>		
----------------------	--	----------	--	--

	<p>3) 介護保険制度におけるケアマネジメント</p> <p>(1) ケアマネジメントの実施機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター ・居宅介護支援事業所 <p>(2) 介護支援専門員の役割と活動の実際</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な業務内容 ・ケアプランの作成の具体例 <p>5. 地域包括ケアシステム</p> <p>1) 地域包括ケアシステムとは</p> <p>(1) 介護予防のための施策</p> <p>(2) 地域包括支援システムの5つの構成要素と 「自助・互助・共助・公助」</p> <p>(3) 地域包括支援センター</p>	4		
--	--	---	--	--